

令和1年6月8日付・山陰中央新報

パパも子どもと一緒に 6月は「読みメン月間」

# 今年の注目は「科学絵本」

父の日がある6月は、鳥根県が推進する「読みメン月間」。読みメンとは、子どもに絵本を読み聞かせる男性のことで、父親や祖父らに積極的に子どもと本を楽しむ時間を過ごしてもらおうと2015年に始まった。名付け親で、県子ども読書活動推進会議委員長の岩田英作・県立人間文化学部教授(56)に、男性の視点で選ぶお勧めの絵本を教えてください。

(増田枝里子)

名付け親 岩田鳥根県立大教授

## 男性視点で選ぶお勧め絵本

「絵本 眠れなくなる宇宙のはなし」(佐藤勝彦作、長崎訓子絵)は「宇宙は何でできているか」「星は全部でいくつあるか」などを解説。岩田教授は途中、文章を手で隠すなどしてクイズ形式で楽しんでいるという。「宇宙人

## コミュニケーションに困ったらぜひ

今年の注目は、パパも子どもと一緒に心からワクワクできる「科学絵本」だ。人類史上初めてフラックホルルの撮ら今までの瞬間までの長い命の影に成功したとのニュースがあり、さらに日本人チームにあり、さらに日本人チームに語り、「宇宙」そのひろが「せいがいれまし」(バ田尚令絵)は、宇宙にいる生き物がどんな姿をしているのか、どんな生き物がいる可能性があるか想像する絵本。子どもと「読みメン」の第一歩。子どもとのコミュニケーションに困ったら、ぜひ絵本を」と、読みメンデビューを呼び掛けている。



読んだ絵本のタイトルや感想を書き込める「読みメンてちょう」



岩田教授がおすすめる「宇宙」などの絵本

どもと一緒に空想にふけるのもいい。「もしも地球がひとつのリングだったら」(デビッド・J・スミス作)は、太陽系や人類の歴史など大きな物を、ボールなど身近な分りやすい物のサイズに縮めて紹介する。小学生だけでなく、中学生でも楽しめる内容だ。

月間の6月中は、県立図書館(松江市内中原町)などで「読みメンてちょう」を配布する。子どもと一緒に読んだ本のタイトルや子どもの反応、感想が記録でき、県は5千部を用意した。県内の公立図書館などで入手できる。

さすが茶どころ松江  
授業に「茶道」

島根県立大学人間文化学部（松江市浜乃木7丁目）で今春、「茶道」の授業が始まった。茶どころの松江の文化を学生に肌で感じてもらうのが狙いで、茶室を飾るのに必要な「華道」も合わせて実施する。キャンパス内には茶室も新設。本格的に学べる環境を整えた。

同学部の山村桃子准教授（37）＝古代日本文学＝が、自らが顧問を務める茶道部の学生の振る舞いや作法、気遣いなどに感銘を受け、授業に取り入れてはどうかと提案。同学部地域文化学科の選択科目として導入された。対象は2年生以上で、試験は筆記だけでなく実技も行う。

茶室は、講義室の一部を改修。10畳分のスペースに水屋やお湯を沸かす電熱器の「炉」も設置。床の間には掛け軸や花を飾り、茶道具も一通りそろえた。

指導するのは、松江市内でお茶を教えている同大非常勤講師の和泉澄子さん（59）＝裏千家＝。大名茶人として知られる松江松平7代藩主の松平治郷（号・不昧）のいた土地で授業を行えることに大きな意義を感じており「生徒も熱心で非常にやりがいがある」と語る。

5月下旬にあった初めての実

島根県立大学  
人間文化学部

キャンパス内には茶室新設

技の授業では、実際に茶室を用い、学生たちは茶室への入退室やお茶のたて方を学んだ。お茶は未経験だという同学部地域文化学科2年生の野津嘉子さん（19）は「緊張している。何も分からないが新鮮」と目を輝かせた。

山村准教授は「座学だけでなく、知識に体験が結びつくことで、学生の興味や関心がさらに広がる」と期待を寄せている。

（増田枝里子、佐貴公哉）



学生にお茶の作法を教える和泉澄子さん（右）＝島根県立大学松江キャンパス、松江市浜乃木7丁目

松江

# 元気な歌や演劇 子どもたち笑顔 県立大生「ほいくまつり」

県立大人間文化学部保育  
教育学科（松江市浜乃木7  
丁目）の1、2年生87人が  
歌や演劇などを披露する  
「ほいくまつり」が29日、  
松江市殿町の県民会館であ  
り、親子連れなど約110  
0人が元気いっぱいのス  
テージに歓声を上げた。  
授業で学んだ保育・教育  
の知識や技能を駆使して、  
子どもたちに楽しんでもら  
おうと、毎年開催しており  
46回目。昨年11月から、歌

やダンスなどの練習を重ねてきた。  
この日は、色とりどりの  
衣装を着た学生たちがステ  
ージいっぱい広がり、「宇  
宙船のうた」「見上げてご

らん夜の星を」など11曲を、  
ダンスを交えて熱唱。子ど  
もたちは手拍子をしたり踊  
ったりして、楽しいひとと  
きを過ごした。  
家族で鑑賞した出雲市立

今市小学校3年の宇佐見結  
菜さん（8）は「お姉さんの  
歌が優しい音色できれいだ  
った。また来年も来たい」  
と笑顔で話した。  
（岩垣梨花）



元気な歌声とダンスで会場を盛り上げる学生たち